

2015 年度 インターンシップ募集要項 (大学生及び大学院生向け)

1. 目的

国際協力に関心をもつ大学(院)生に実務経験の場を提供することにより、国際協力に携わる人材を育成すること。

2. 応募資格

- ① 日本の大学院・大学に在学中又は日本国籍を有し海外の大学院・大学に留学中で大学院・大学から推薦されたもの。但し、大学4年生、大学院修士課程2年など就職活動中(内定を含む)の者については対象としない。(大学3年生、大学院修士課程1年生が望ましい。)
- ② 英語力及び日本語について、十分な能力を有する者
- ③ 国際協力・開発援助に深い関心を有しており、将来、国際協力に関連した仕事に携わる意思を持っていること
- ④ 過去にJICAにおいてインターンシップを行った経験がないこと
- ⑤ 心身ともに健康であること
- ⑥ 国籍は問わない

3. 実習内容

JICA 関西の事業 JICA 関西の事業(研修員受入事業(防災、中小企業支援、環境などの各分野があります)・開発教育支援事業・NGO 支援事業・広報事業など)の中で、業務補助・調査研究を行う。具体的な実習内容については、選考過程でのマッチングを経て決定する。

応募する前に JICA 関西の事業をホームページ等で、自身が携わりたい事業があるか確認すること。

4. 実習期間

2015年8月10日～9月18日のうち2週間を原則とし、実習テーマに応じて適切な期間を決定する。なお、インターン生全員を対象としたオリエンテーションを8月10日(月)、実習報告会を9月18日(金)に実施する。(必ず参加すること。)

5. 選考

大学での学内選考の後に、JICA 関西での書類・面接選考となります。

手続きについては、各大学の就職課・キャリアセンターなどの担当窓口の指示に従うこと。

なお、JICA 関西での面接選考は2015年7月16(木)、17日(金)に行います。時間はJICA 関西が指定します。

6. 実習事例

過去のインターンシップの実習事例(昨年度の例)は以下のとおり。

(受入れ時期やインターン生の関心・適性により異なる)

日時	研修内容
初日	実習開始 JICA 関西所長、その他スタッフへの挨拶 オリエンテーション(JICA 関西の事業について)
1 週目	業務課での実習 担当職員の業務補助(研修コース実施の補助)及び研修コース見学 ・ カントリーレポートの整理作業⇒最終レポート(英語)の作成 ・ 集団研修「投資環境法整備コース」

	<ul style="list-style-type: none"> ・ シリア国別研修「総合経営管理研修コース」 ・ 情報処理関連業務(データベース作成など)
2 週目	<p>市民参加協力課での実習</p> <p>① 開発教育支援事業関連</p> <p>「高校生国際協カスプリングセミナー」に向けた準備及び実施補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修員と高校生の交流会の司会進行 ・ 資料作成（タイムテーブル・アンケート・研修員紹介冊子等） ・ 展示場設営 ・ セミナーの記録係・写真撮影係 <p>② 広報業務関連</p> <p>担当職員の業務補助及びイベント参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 関西HPのコンテンツ作成（関係者への取材など） ・ イベント実施補助（プログラム企画・館内装飾など）

7. FAQ

- a. どのような実習が出来ますか？
→JICA 関西で実施している事業に関わることです。
- b. 海外での実習は可能ですか？
→JICA 関西（大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県を担当）での実習に限ります。なお JICA インターンシッププログラム（JICA 国際協力人材部が所管）では、在外事務所での実習も可能です。（<http://www.jica.go.jp/recruit/intern/index.html>）。2015 年度第 1 回は締め切りました。第 2 回は 9 月に応募予定です。
- c. 英語は必要ですか？
→実習内容に拠ります。研修員受入事業に関わる実習では英語も用います。JICA 関西の施設には、海外から来ている研修員が多くいます。英語で積極的に話しかける姿勢が大切です。
- d. 交通費は出ますか？
→自宅から JICA 関西までの交通費はインターン生本人の負担となります。実習を行う上で外勤（JICA 関西以外の場所への訪問）が必要と JICA が判断した場合には、JICA が外勤にかかる費用を負担します。
- e. 外国人と交流できますか？
→JICA 関西には多くの研修員が開発途上国から来日しています。昼休みや業務後に個人的に研修生と交流することは妨げませんし良い経験になると思いますが、JICA 事業を補助する実習の中でそのような機会は多くありません。
- f. どれくらいの頻度・期間の実習になりますか？
→期間は上述のとおりです。JICA 関西の執務時間は平日 9：30～17：45 ですので、インターンシップ期間中は基本的にこれに準じて実習をしてもらいます。また携わる事業が土日祝日に実施される場合には事前にご相談させて頂き、出てもらうこともあります。アルバイト・大学の行事等で休む必要がある場合は事前にご相談下さい。

以上